

教職支援委員会から

教採合格に向けての主な取組内容と 支援室の積極的な活用を

一 教員採用試験の全体の動向

教員採用は、比較的長期に渡る採用増加期が止まりつつあり、自治体により採用数の増減が異なる傾向にあります。例えば埼玉県では、全校種を合わせて一七三六名となり、昨年度より二一九名減となっておりますが、さいたま市は四〇〇名となり、昨年度より三四名増となっております。

全国的な傾向として、小学校教員採用倍率の低下が顕著となっております(本年度埼玉県は一・九倍、さいたま市は二・二倍)。学生にとっては、比較的教員になりやすいと喜ばしい一面がある一方で、今後の教育界全体を考えますと、教員の質の低下が懸念されます。

このような状況下で、試験日を例年と比べて早期に実施したり、三年生からの一部受験を実施したりするなど、各自自治体は優秀な教員の確保に力を注いでいます。

教職支援委員会ではこれらの動向を踏まえ、採用試験を受ける学生をサポートする様々な取組を行っており、教友会(教育学部同窓会)の協力もいただいています。

二 教友会からの支援

教員採用試験対策「模擬個人面接」

七月十八〜二十日の三日間にわたり、ご指導をいただくことができました。面接では小・中・高・特別支援学校の教員を目指す学生だけでなく、養護教諭や幼稚園教諭・保育士を目指す学生にも幅広く対応していただき、本番を想定した面接指導を通して、多くのご示唆をいただきました。

「教員採用試験対策DVD教材」

令和三年度に教友会から教職を目指す皆さんのために、教員採用試験対策DVD教材を寄贈していただきました。本年度も多くの学生が視聴できるようにWebClassを通して情報を配信しています。また、教職指導員による教職支援セミナーでも活用しています。

〇視聴できるDVD講座

- ・実力錬成教職教養
- ・直前対策教職教養
- ・小学校全科
- ・教職面接DVD講座
- ・教職論文DVD講座

さらに多くの皆さんが活用し、力を付けてほしいと思います。



三 来年度の教員採用試験対策(予定)

教職支援委員会では、教職支援セミナーとして、一斉指導やクラス別学習のほか、前述の教友会「模擬個人面接」や個別相談など、教員を希望する学生を支援する取組を充実させてきました。これらの教職支援に関する取組への出席率・活用率が教員採用試験の合格を左右するところとなっております。

以下に、来年度の教員採用試験に向けた取組(予定)を記します。

- 〇二月〜 外部講師による対策講座及び一次試験対策模擬テスト等の実施(生協企画連携)
- 〇四〜五月 各自自治体の教員採用試験要項説明会の実施
- 〇四〜七月 教職指導員による前期教職支援セミナーの開催
- 〇四〜七月 教師力向上ケーススタディ演習I
- 〇七月中旬 教友会の面接員による「模擬個人面接」の実施
- 〇七月下旬〜八月中旬 二次試験対策のための個別指導
- 〇十〜二月 教師力向上ケーススタディ演習II、教師基礎力養成演習
- 〇十〜二月 教職指導員による後期教職支援セミナーの開催
- 〇十一〜十二月 埼玉県・さいたま市他の採用試験説明会や都道府県別指導の実施

四 教職支援セミナーへの参加

教職支援委員会では、論文・面接・実技試験対策等の教職支援セミナーを開催し、教職を志望する学生を支援しています。令和六年度教員採用選考試験においても、これまでと同様、セミナーへの参加回数が多い学生ほど合格率が高い結果となっております。これは、教育及び教職に関する豊かな知識と経験を有する教育実践総合センター教員や教職指導員等の指導のもと、受験生同士が切磋琢磨し、学びを積み重ねてきた成果です。

教職支援セミナーに積極的に参加し、早い時期から継続的に準備をしておくことが重要です。

五 教職支援室の積極的な活用

教職支援の窓口としてC棟二階に「教職支援室」を開設しています。教職支援室では、全国の教員採用試験の情報収集と提供、教職支援室スタッフによる相談などを行っております。また、各自自治体の過去の試験問題集、各教科等の指導書や教科書、各種教育情報誌などの閲覧や貸し出しも行っています。

教職支援室は教職を目指す学生のニーズに沿ったサポートを心がけていますので、積極的に活用しましょう。まずは気軽に足を運んでください。